

<p>該当箇所</p>	<p>誤</p>	<p>正</p>
<p>183 頁下段 6～10 行目</p>	<p>右の貴重絵図を拝領した十九代堀九郎兵衛氏(正容)は天保八年三月十二日、山口・大市の宮竹三郎左衛門二男に生まれ、明治十七年九月廿二歳で十八代九郎兵衛(正和)の跡を継いで、正容と称し、魚居・得養軒と号した。大正六年七月十七日没(八〇歳)。墓は永太院本堂境内裏の墓地にある。</p>	<p>右の貴重絵図を拝領した十九代堀九郎兵衛氏(魚居)は天保八年三月十二日、山口・道場門前の宮竹三郎左衛門二男に生まれ、津和野十六代堀九郎兵衛正徐の養嗣子となり、幕末に十七代九郎兵衛(正容)を継いだ。明治二年嫡男正和に家督を譲り魚居と改称した。明治十七年、十八代九郎兵衛(正和)が廿二歳で亡くなったため、再び十九代として跡を継いだ。号は得養軒。大正六年七月十七日没(八〇歳)。墓は永太院境内の墓地にある。</p>